

2019年5月31日

PRESS RELEASE



※



岡本太郎美術館 20周年記念展

これまでの企画展みんな見せます!

前期 / 岡本太郎・縄文から現代へ

2019年7月13日(土)～10月14日(月・祝)

生前の岡本太郎氏から川崎市が2千点におよぶ主要作品の寄贈を受け、1999年10月30日に岡本太郎美術館が開館し今年で20年を迎えます。

岡本太郎美術館では開館以来、常設展示室での収蔵作品展示のほかに、企画展として、「岡本太郎を顕彰し、その芸術性を探るもの」、「岡本太郎が交流した作家とその時代」、「芸術と社会との関り」を企画展のテーマとして展覧会を開催してきました。20年の間にこれらの企画展は約60回となります。

開館20周年の記念として、これまでに開催してきた企画展を振り返り、展覧会を象徴する代表作品や資料を抽出し展示する展覧会を前期と後期に分けて開催します。

前期展では、岡本太郎の多面的な活動の足跡と、縄文土器から民族の源流を探るフィールドワークの旅、そして岡本太郎と関わりの深い同時代の作家を紹介します。

本展を通じてこれまでの展覧会を振り返り、今後の美術館の更なる役割を見出すきっかけとしたいと考えています。



※…20周年記念ロゴマーク デザイン: 廣村 正彰

展覧会概要

展覧会名 これまでの企画展みんな見せます！ 前期／岡本太郎・縄文から現代へ

会 期 2019年7月13日(土)～10月14日(月・祝)

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

休 館 日 月曜日(7月15日、8月12日、9月16日、9月23日、10月14日を除く)、
7月16日(火)、8月13日(火)、9月17日(火)、9月24日(火)

観 覧 料 一般1,000(800)円、高・大学生・65歳以上800(640)円、中学生以下は無料
※()内は20名以上の団体料金

主 催 川崎市岡本太郎美術館

協 力 岡本太郎記念館、東京国立近代美術館、川崎市市民ミュージアム、中村正義の美術館、昭和女子大学光葉博物館、井戸尻考古館、ワンダーアートプロダクション、特定非営利活動法人熱帯森林保護団体、早稲田大学、廣村デザイン事務所、二子流東京鬼剣舞

助 成 一般財団法人地域創造

協 賛 岡本太郎美術館20周年事業支援実行委員会

次 回 展 これまでの企画展みんな見せます！ 後期／芸術と社会・現代の作家たち
会期：2019年10月26日(土)～2020年1月13日(月・祝)

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当：大杉、片岡 広報担当：佐藤

TEL：044-900-9898 / FAX：044-900-9966

みどころ

●岡本太郎芸術の多面的活動を代表作品で紹介

これまで岡本太郎の芸術性を深く掘り下げる展覧会として、「太陽の塔」「明日の神話」などの作品に焦点をあてた展覧会や、「テレビ」「ことば」「あそび」などのテーマから岡本太郎芸術を紹介する展覧会、また、「建築」「パリ時代」「パブリックアート」など様々な表現・分野や、時代という視点で展覧会を開催してきました。本展ではこれらの展覧会から代表作を展示することで、岡本太郎の多面的な活動の足跡をたどることができます。



岡本太郎 《明日の神話》(部分) 1968年 油彩

●民族学、縄文土器への衝撃、そして現代へ

パリで民族学を学んだ岡本太郎は、芸術は民族の歴史や文化の延長線上にあると考えていました。本展では、縄文土器の再発見に端を発して国内外をフィールドワークしたその足跡を写真と資料で紹介します。縄文土器、パプアニューギニア、韓国、沖縄、東北などの貴重な資料を展示し、岡本太郎が探る民族の姿とその文化について紹介します。



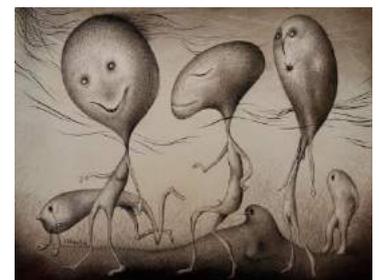
岡本太郎撮影《縄文土器》1974年

写真撮影もOK!

本展は全て写真撮影が可能です。縄文土器、そして岡本太郎が写した写真をあわせて展示するスペースでは、岡本太郎の視点を体験してみましょう。

●岡本太郎と周辺の作家

岡本太郎が関りを持った作家、荒川修作、池田龍雄、北大路魯山人、北代省三、篠原有司男、横尾忠則等の作品を展示、その関わりの中から互いの芸術性を探ります。



池田龍雄《化け物の系譜シリーズ ゴム族》
1950年代 インク・紙

主な出品作品(予定)

岡本太郎 絵画 25点、版画 10点、彫刻 20点、陶器 4点、写真 74点

出品作家 荒川修作、池田龍雄、北大路魯山人、北代省三、篠原有司男、土田ヒロミ
都築響一、内藤正敏、横尾忠則 (50音順)

その他 縄文土器(井戸尻考古館)《神像筒型土器》、《水煙渦巻文深鉢》、《人面香炉形土器》など5点
パプアニューギニア資料(早稲田大学) 仮面、神像、盾 計20点
アマゾン資料(熱帯森林保護団体) 籠5点、椅子6点、ボディペイント絵画9点、羽飾り7点
韓国資料(昭和女子大学光葉博物館) 韓国仮面10点
映像 「岡本太郎美術館20年の歩み」30分、「テレビ発掘まる裸の太郎」5分
「韓国・山台劇」3分、「岡本太郎作品制作映像」20分
岡本太郎美術館展覧会ポスター60点、展覧会図録60点、チラシ60点

関連イベント

甦れ!!バーチャルリアリティ 太陽の塔

日本工業大学の学生によるVRコンテンツを体験。1970年万国博当時の「太陽の塔」と内部の「生命の樹」をVRで体験します。

日 時:8月3日(土)~8月12日(月・振休)(8月5日(月)を除く) 11:00~16:30

場 所:企画展示室

料 金:観覧料のみ

太郎 de くんくんウォーク

岡本太郎美術館が位置する自然豊かな生田緑地。その生田緑地のにおいをつめた自分だけのくんくんボトルをつくります。ボトルができれば、太郎さんの作品や秘密のアイテムのにおいをかいでみましょう。

日 時:9月15日(日) 10:30~16:00

場 所:生田緑地・展示室・創作アトリエ

講 師:井上尚子(現代美術作家)

対 象:小学生以上

定 員:25名

料 金:150円(ボトル代) 高校生以上は別途要観覧料

申 込:電話受付(8月28日(水)10:00から受付開始、先着順)

PRESS RELEASE



自分や一めた～変身して美術館で撮影しよう！～

日用品を使って仮装するワークショップです。

日 時:9月22日(日) 13:00～16:00

場 所:ガイダンスホール、企画展示室内

講 師:原倫太郎・原游(現代美術作家)

対 象:どなたでも

料 金:観覧料のみ

二子流東京鬼剣舞による《鬼剣舞》

岡本太郎は様々なまつりに関心を持っていました。そのうちのひとつ、岩手県の代表的な伝統芸能《鬼剣舞》の公演を開催いたします。

日 時:10月6日(日) 14:00～母の塔前広場 15:30～企画展示室

演 舞:二子流東京鬼剣舞

料 金:無料(展示室での演舞は、観覧料が必要です。)

※その他のイベント、詳細につきましては、当館ホームページで随時お知らせいたします。

川崎市岡本太郎美術館ホームページ <http://www.taromuseum.jp>

川崎市岡本太郎美術館

川崎市岡本太郎美術館は、川崎市高津区生まれの岡本太郎氏から寄贈された作品や資料を所蔵する美術館として、1999年10月30日に開館しました。生田緑地の豊かな自然と、岡本太郎をはじめとする様々な芸術作品を五感で楽しむことができる「体験型美術館」というコンセプトに基づき、四季折々の自然と岡本太郎の創作のエネルギーを感じることができます。岡本太郎、父・一平、母・かの子の芸術を顕彰するための常設展示と太郎芸術の理念に基づいた、美術の分野をこえた新しい芸術の可能性を模索する場として、近現代の美術や、新人作家を紹介する展覧会、幅広い層を対象とした企画展などを開催しています。この他、作品の保存・収集と調査研究事業、こどもから大人まで芸術に親しんでもらうことを目的としたイベントやワークショップを開催しています。